

発行所  
石川県保険医協会

金沢市尾張町1丁目9番11号  
〒920 尾張町レジデンス2F  
電話 (0762) 22-5373番  
発行人 平松昌司  
印刷所 ユーアイ印刷

# 石川保険医新聞

〇〇〇〇主な記事〇〇〇〇

- 2面 北信越ブロックが厚生省と懇談
- 3面 中医協への緊急要請
- 4面 保団連定期総会(報告)
- 5面 福祉マップの反響
- 6面 黄色いハガキから
- 7面 お訪ねします—吉田均先生—

## 診療報酬4月改定が確定

### 十月には給食外し策も

次期診療報酬改定は、四月に薬価基準の引き下げと甲乙一本化などに伴う実質改定と、十月に健保法改正による病院給食の保険外しを財源とした振替改定という二段階方式になることが明らかになった。

厚生省・中医協の今後の作業日程は、二月十日大蔵省原案内示、十五日閣議決定であり、二月最終週に中医協に諮問・答申、三月上旬に告示になれば四月一日実施が確定する。

なお、一月二十八日の中医協で「一九九三年六月医療経済実態調査」の速報値

### 協会の説明会は3月27日に開催

改定幅では、一月十五日の各紙で大蔵省が財政難を理由に実質一% (診療報酬三%アップ、薬価二%ダウン) とする方針を固めたこと、その後、厚生省が「多剤投与規制と処方料

が公表され、前回調査よりも医療収支差額は、医師診療所が三〇・〇% ↓ 二八・五% と一・五% 悪化し、一般病院が〇・二% ↓ マイナス〇・七% と〇・九% 悪化し、初めて赤字に転落している。

このような経営悪化の大きな要因は、建値制導入と薬価算定方式の変更による医薬品費の伸びであることが明らかである。

一方、歯科診療所は三三・二% ↓ 三四・四% に改善しているが、前回調査の理由に実質一% (診療報酬三%アップ、薬価二%ダウン) とする方針を固めたこと、その後、厚生省が「多剤投与規制と処方料

今年四月と十月の二回に分けて改定することが報道されている。十月改定は、病院給食の保険外しを財源として「付添い看護・介護の解消」「入院給食の改善」「在宅医療の推進」の三点セットに係る点数評価に振り替え、一・五% 程度といわれている。

しかし、入院給食の患者負担を盛り込んだ医療保険制度「改正」には、日本医師会をはじめ医療団体や患者団体が強く反対し、五百二十市町村の議会で反対決議が挙げられている。厚生省の方針通りの十月改定を許すかどうかは、これからの運動にかかっている。

## 持論

一 昨年の建値制導入に伴う医療機関の経営危機と医療品メーカーの大幅増益、医薬分業問題、ユー

わが国の年間総医療費は、約二十兆円と言われるがその内クスリが約七兆円といわれ、国民一人あたりの薬剤費は断トツの世界一である。この突出した薬剤費を抑制するため、医薬分

に説明しようというのだろうか。しかもその薬価の決め方自体、類似薬効比較主義と説明されているが実状はきわめて不透明である。

今日ゼネコンの問題で、行政責任者や政治家と業者の癒着が

せってきた。医療機関側はといえば、低医療費政策のもとで極めて低い技術料に押さえられ、その見返りとして、数年前までは薬価差益という潜在技術料で何とか補っていたが、今やそれもほとんどなくなり本当の意味で経営危機に直面している。

混沌とした政治情勢のなかで、例年のごとく診療報酬や薬価改定の時期を迎える。今こそ末節的な、何パーセント上がる下がるの議論でなく、もっと根本的な、国民が納得できる医療技術料の決め方や新薬の承認の仕方、薬価の決め方を議論しなければならぬのではないだろうか。

## クスリを考える

業を政策的に押し進めたり、診療報酬上薬剤のまるめを推進したり、多剤投与にはペナルティを課したりする一方、最近新規に薬価収載されるクスリは、お

指摘されているが、厚生省当局と医薬品業界の関係にはそれ以上の癒着があるとしか考えられない。

国民皆保険が施行されて三十

飛躍的にその売り上げを伸ばさ

## 新点数検討会のご案内

テーマ これだけは知っておきたい 点数表改正点のポイント  
講師 石川県保険医協会講師団  
テキスト 『94年点数表改正点のポイント』(保団連発行)  
参加費 会員医療機関 1人無料、2人目から1,000円  
非会員医療機関 1人2,000円

### 《金沢会場》

とき 3月27日(日) 午前10時~正午  
ところ 石川県社会教育センター 4階講堂  
(金沢市本多町3-2-15 ☎0762-31-3291)

### 《七尾会場》

とき 3月27日(日) 午後2時半~午後4時半  
ところ サンライフ七尾 2階視聴覚室  
(七尾市本府中町ヲ38 ☎0767-53-3260)

※後日改めて案内状を送ります。

## 協会の会員数

医科 530  
歯科 201  
合計 731人  
(2月10日現在)

## 医心凡話

「国民福祉税」なるものが、ある日突然、殿の口から発せられるや、「殿、ご乱心を」と、取り巻き大臣

達があわてふためいてとりなすという、平成おそまつの一幕が演じられたのは、つい先日のことであった。結局、あれはなかったことにしよう、しゃんしゃんしゃんとなつてしまったが、しかし後から出てきた話から察すると、あれは、ちゃんと筋書きができていて、たまたま、セリフの場所が一幕早すぎたということらしい。福祉税といっても、どれほど本当に福祉へお金が回ってくるかは、消費税の福祉配分が数パーセントにしかなっていないのを見ても、考えるまでもない。

口を開けば高齢化社会のために、福祉のために、お年寄り、福祉さえ言っておけば国民は納得するだろうとの魂胆としか思えない。福祉がなにか人身御供にされているようで情けない。政権が代わって「国民にしてやる政治」が脱皮したのかと思いきや、がっちり毛布を着こんだままではかぜで寝込むのは国民だけということになる。

福祉問題に力を注ぎ込んでも、次の選挙であまり票にならないから、ついつい政治家は避けたがるという話を聞いた。自助努力の限界を自ら見極めて、早く言うべきことをはっきり言わないと、福祉の衰弱はすぐそこである。



厚生省と懇談する北信越ブロック各協会の面々(写真、左側)

# 審査・指導の改善を求め 北信越ブロックが厚生省と懇談

保団連北信越ブロックは、一月六日、「診療報酬制度における規制緩和の要望事項」「個別指導、監査のあり方に関する要望事項」を厚生省保険局に申し入れ、懇談した。昨年二月に引き続き二度目の厚生省との懇談である。

規制緩和については、①正月、五月のレセプト提出日の三日延期、十日が土日の場合の延期、②週休二日制の普及に伴う土曜日の休日加算および時間外加算の要件緩和、③外用薬の投与期間五分限度の緩和、④一剤二百五十円以下の薬剤名の記載省略を要求した。

厚生省からは、外用薬五分限度の緩和については、関係学会の意見を参考に、次回改定で改善を図る、との前向きな回答を得た。しかし、レセプト提出日の延長や土曜日の休日加算などについては、趣旨は理解できるとしながらも、従来どおりの回答にとどまった。

昨年十月の「富山個別指導事件」を契機とした個別指導・監査のあり方については、厚生省は個別指導で特に問題があるとは受け止めておらず、「自主返還を強要しない」、「希望する立会人を認める」、「指導内容のテープ録音」という改善要求については、いずれも否定的な回答に終わった。

また、監査については、地域特性に応じた診療や専門技術を用いた特徴ある診療が、高点数という理由で「監査の選別標準」の「不当」として取り扱われる可能性があり、そのことが監査と指導を混乱させていることを指摘し、「監査の選別標準」をより限定することを要望した。

この日は明解な回答がなかったが、後日、一月二十八日に篠崎医療課長が「監査要綱は昭和二十八年、指導要綱は三十二年に制定され、三十年以上も経っており、いまの時代に合わせるべきと考える」と述べ、厚生省当局が監査要綱や指導要綱の見直しを検討していることを示唆した。

北信越ブロックでは、今後も医療改善の要求を掲げ、交渉を継続していくことにしている。

## 1月度理事会 理事会の強化と 若がえりを… 第17回理事会 1月18日・10人出席

新年が明けて初めての理事会は、部屋の暖房が十分ではなく、寒々とした雰囲気が始まった。新規入会が五人、脱会者が二人で、合計七百三十人の会員となったとの報告。経営・共済部からは、診療報酬に対する事業税「非課税措置」撤廃の動きが報告され、税金対策に関する話題で花が咲いた。いずれにしても情報が十分ではなく、これらの対応は、来年度の重点課題として協会として取り組むことを確認した。

三井生命のコンピュータの端末機が一月中にも協会に設置され、会員からの保険医年金の問い合わせに即応できるようにする。協会の強化と若がえりを…

協定事項では、保団連の定期総会で、富山事件に関係して、今年十月には指導・監査に関する全国集會を富山で開催することを石川協会として発

### 囲碁解答

黒3が好手でこれに限りません。黒3で一路下に渡ると白に3と打ち欠かれて黒生きられません。白4で5と取りに行くのは黒に3の下に渡られて白無理です。

### 核戦争を防止する石川医師の会

#### 第7回総会・公開記念講演のご案内

テーマ プルトニウムと高速増殖炉「もんじゅ」  
— 巨大核技術の夢と現実 —

講師 京都大学原子炉実験所 小林圭二先生

とき 3月6日(日) 午後1時～午後2時半

ところ 金沢都ホテル 5階「能登の間」

参加費 無料

### 映画 病院で死ぬということ

#### 金沢上映会

とき 第1回 3月19日(土) PM 2:00～  
第2回 4月16日(土) PM 2:00～

ところ 石川県女性センター(金沢市三社町)

参加費・前売券1,300円・当日券1,500円

※前売券は保険医協会にあります  
☎ 0762 (22) 5373

# 保険で良い入れ歯を運動

## 意見書採択の自治体 全国の半数に迫る

「保険で良い入れ歯を」全国連絡会の集計では、意見書採択した自治体は千五百七十七カ所(四七・七%)となり、全国自治体の半数に迫るうとしている。

石川県でも、保険医協会や「国民医療を守る共同行動」実行委員会などからの議会請願や陳情により、昨年九月議会までに金沢市、七尾市、山中町、辰口町、能登島町、鹿西町、鳥屋町、鹿島町、門前町の九自治体で意見書が採択されていた。

当会では、さらに十二月議会に向けて、未採択自治体の歯科会員に陳情書への賛同署名を呼びかけたところ、八自治体十一人から陳情書が寄せられた。この結果、十二月議会では新たに小松市、松任市、津幡町で意見書が採択され、

県内で採択した自治体は十二カ所(二八・六%)に広がることになった。

このような保険で良い入れ歯を求める住民運動と世論を反映して、中医協全員懇談会の次回診療報酬改定の検討事項に「床義歯については、現在の技術料の見直しと床義歯装着後の評価」が盛り込まれるようになった。

しかし他方で、日本歯科医師会は一月二十七日に臨時代議員会を開き、保険給付外である金属床義歯の特定療養費導入を合意しており、このまま実施されると診療報酬点数表の改善は放置され、金属床義歯の次はメタルボンドの特定療養費化、自由診療の規制に運動するという重大な情勢になっている。

# 保団連税務担当事務局会議〈報告〉

## 「税制改革」を国民本位のものに KSKシステムにも監視が必要

保団連一九九四年度定期 税務行政を民主化させ、③  
総会翌日の一月二十四日、 会員の経営と生活を守る、  
東京神田の大朋会館で保団 以上三点について各保険医  
連税務担当事務局会議 協会は今後、具体的にどの  
が開かれました。 ような活動を推進していく  
会議は保団連税務部 かの学習・討論しました。  
の活動方針、すなわち①消 以下、その内容を簡単に報  
費税の廃止と税率引き上げ 告します。  
を中心とする「第二次税制 一九八一年四月、「増税  
改革」に反対し、合理的医 無き財政再建」をスローガ  
業税制の確立をめざし、② ンに掲げた「福祉切り捨て、

もいわれ、高齢化社会に向  
けて国民負担を一層重くす  
るといふものです。  
臨調行革路線の総仕上げ  
といわれる一連の税制の「抜  
本改革」によって開業医の  
税負担は一層重くなること  
は必至で、薬の建値制導入  
により仕入れ価格が高騰し  
ている今日では、消費税が  
引き上げられた場合、地域  
医療の崩壊につながりかね  
ない状況といっても過言で  
はありません。  
保団連・保険医協会は、  
政府税制調査会に「税制改  
革」の内容を国民生活本位  
のものにし、とりわけ医療  
の公共性を重視し保険診療  
の事業税非課税を存続する

ことや、消費税の廃止、当  
面は医療の消費税をゼロ税  
率（完全非課税）にするこ  
となどを要請してきました。  
所得税減税の規模と内容お  
よび消費税率の引き上げ幅  
は現時点では未定ですが、  
「高齢化社会のため」とい  
う口実を用いながら、実は  
社会保障を後退させ、低所  
得者や高齢者に過酷な負担  
を強いる「税制改革」をこ  
のまま見過ごすことはでき  
ません。  
また、膨大な個人のデー  
タを収集し、情報管理、納  
税者管理の強化を目的にし  
たKSK（国税総合管理）  
システムは、一九九〇年十  
一月にその開発が発表され  
て以来、国民のまったく知  
らないところですすめられ  
ており、プライバシー保護  
および情報公開制度の保障  
のない中で使用は大きな  
問題を含んでいます。  
なお、一九九三年分確定  
申告のポイントについては、  
二月五日に保団連から発行  
された一九九四年版「保険  
医の経営と税務」（一冊千  
五百円・会員に無料配布済  
み）に詳しいので、ここで  
は省略します。  
（事務局 杉野）



# 石川協会第20回定期総会のご案内

一、日 時 二月二十七日(日) 午後二時～午後六時半  
一、会 場 金沢都ホテル 五F (金沢駅正面)  
一、運営次第

## 第一部 記念講演 (午後二時～午後四時)

■ MRS A 感染症対策について

■ 講師 東京都老人医療センター感染症科医長

稲松孝思 先生

※医療従事者の参加を呼びかけています。

## 第二部 総会議事 (午後四時～午後五時)

① 一九九三年度活動報告

② 一九九四年度活動方針案

③ 一九九三年度決算報告並びに会計監査報告

④ 一九九四年度予算案

⑤ 総会アピール

## 第三部 記念パーティー (午後五時～午後六時半)

# 中医協診療側委員に緊急要請

二月三日に開かれた中医協で、医療経営の悪化に対する支払側の無理解に  
抗議して、診療側委員が退席したという報道がありました。  
翌日、珠洲医師会長の中沢芳夫先生から、私の方からも地区医師会長  
や県医師会に要請しているが、保団連・保険医協会からも診療側委員に  
妥協することなく、頑張るよう激励してほしいとの要請があり、左記の  
ような要請文を診療側委員に送付しました。

## 医科中医協委員への要請文

平成五年六月の医療経済実態調査の速報値が公表され、医療機関  
の経営悪化が実証された中で診療報酬改定の時期を迎えています。  
日本医師会が昨年十一月に中医協に提出した診療報酬六・六六％  
の引上げの要望を最後まで堅持し、ご尽力下さるよう要請致します。  
また、昨年十二月に日本医師会がまとめた「給食費自己負担に対  
する考え方」にもとづき、入院給食の自己負担導入や特定療養費の  
拡大など断じて容認することなく、公的保険医療の拡充のため、ご  
尽力下さるよう重ねて要請致します。  
平成六年二月七日

中医協委員 坪井栄孝 様

石川県保険医協会会長 平松昌司

## 歯科中医協委員への要請文

平成五年六月の医療経済実態調査の速報値が公表され、医療機関  
の経営悪化が実証された中で診療報酬改定の時期を迎えています。  
日本歯科医師会が昨年十一月に中医協に提出した診療報酬七・〇  
六％の引上げの要望を最後まで堅持され、ご尽力下さるよう要請致  
します。

また、これまで保険給付外であった金属床義歯の特定療養費導入  
など容認することなく、「保険で良い入れ歯を」はじめ公的保険医  
療の拡充のため、ご尽力下さるよう重ねて要請致します。  
平成六年二月七日

中医協委員 斎藤憲彬 様

石川県保険医協会会長 平松昌司



# 『福祉マップ』発行から三カ月

## 協会、書店に注文相次ぐ

### 予想を上回る反響

保険医協会では、県下の医療・福祉・行政担当者の協力を得て昨年十一月に、『福祉マップ』（改訂第三版）を二千七百部発刊し、会員はじめ関係先に配布しました。

『福祉マップ』の発行から三ヶ月がたちましたが、私たちの予想を上回る反響が寄せられています。この反響が、今後の福祉政策の推進に大きく貢献することを期待しています。

また、正確を期すために別記のような訂正箇所や改善点などの指摘も寄せられており、本書のような福祉制度のガイドブックが医療福祉関係者に待ち望まれていたことを改めて痛感しました。

『福祉マップ』の発行から三ヶ月がたちましたが、私たちの予想を上回る反響が寄せられています。この反響が、今後の福祉政策の推進に大きく貢献することを期待しています。

また、正確を期すために別記のような訂正箇所や改善点などの指摘も寄せられており、本書のような福祉制度のガイドブックが医療福祉関係者に待ち望まれていたことを改めて痛感しました。

また、正確を期すために別記のような訂正箇所や改善点などの指摘も寄せられており、本書のような福祉制度のガイドブックが医療福祉関係者に待ち望まれていたことを改めて痛感しました。

## 【精神科の会員からの指摘】

『福祉マップ改訂第3版』の57ページ（精神障害者医療費公費負担制度）の解説に以下の追加補正をお願いしたい。

国民健康保険受給者の一部負担については、一部の市町村で精神障害者の通院公費申請者分については無料となっております。輪島市と門前町と七尾市だったかと思えます。まだ無料化していない市町村への刺激になるかと思えますので、ぜひお願いします。

なお、一部負担金については次のような問題点がありますので、ご参考までに書き添えます。

#### ①国保受給者が一般の病気で通院した場合

国保の負担	自己負担	→市町村国保の負担分
70%	30%	70%

#### ②国保受給者が精神障害者通院公費負担を申請した場合

公費負担	国保の負担	自己負担	→市町村国保の負担分
50%	35%	15%	35%

#### ③②の場合の自己負担を市町村が無料化した場合

公費負担	国保の負担	→市町村国保の負担分
50%	50%	50%

★この場合でも一般の病気に比較して市町村国保の負担は20%も少ない。精神障害者通院公費負担を申請した場合、市町村国保の負担は著しく少なくなり、それは他の病気でかかった人たちに対するよりも極めて少なく、例え、その患者さん負担分を無料化してもまだ20%も負担が少ないことが分かります。当然、精神障害者通院公費の国保受給者の一部負担金は無料化して然るべきと存じます。

#### 《協会のコメント》

全国精神保健センター長会が本年9月にまとめた「外来通院精神障害者の公的負担についての調査報告」によると公的負担を実施しているのは191市（実施率28.9%）、226町（同11.3%）、140村（同24.1%）である。

とくに京都府、大阪府、沖縄県では全市町村で実施しており、また平成4年、5年には家族会の働きかけや自治体独自の判断で、徐々に実施市町村が広がっていることが特徴である。上記の指摘で明らかのように、石川県でも実施市町村が広がるように働きかけをしていきたい。

## 『福祉マップ』の訂正箇所

#### (1) 17～18頁＝日常生活用具の給付・貸与

『利用できる方』の説明の中で、「ただし年間所得税額が10万円以下の世帯に限ります」と書かれているが、18頁の費用負担基準との関係はどうなるのか、という質問がありました。この費用負担基準は電動ベッドの給付の場合にだけ適用されるものです。訂正します。

#### (2) 43頁＝身体障害者手帳の交付／療育手帳制度について

「療育手帳は、知的な障害を有する方に、申請に基づいて交付される手帳です」と書かれているが、これでは不十分との指摘がありました。療育手帳は18歳までに知的障害となった場合に限り交付されるものです。

#### (3) 39～40頁＝特例許可老人病院の掲載内容に誤りがありました。

①石川県立高松病院（高松町 450床）と片山津温泉丘の上病院（加賀市 102床）は特例許可老人病院ではありませんので削除します。

②特例許可老人病院として、浜野病院（七尾市 188床）、松原病院（金沢市 528床）、桜ヶ丘神経サナトリウム（金沢市 500床）を追加します。関係者にはご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

#### (4) 116頁＝七尾市の給食サービスについて、次のような訂正依頼がありました。

回数＝月4回→月3回  
利用料＝250円→200円

#### (5) 今後、掲載を希望する事柄

①特例許可老人病院には、病棟単位で承認を受けているところがある。今後、版を改める際には、特例許可を受けている病床数とその他の病床数を区分して記載してほしい。（石川県精神保健センターより）

②生活福祉基金の貸付について、利用者便宜をはかるためにも社会福祉協議会の所在地等を記載することを今後、考慮していただきたい。（七尾市社会福祉協議会より）



## 福祉施策の底上げを

さらに今回はうつつのみや、書林、王様の本、福音館など主要書店にも販売をお願いします。

保健所、市町村役場、福祉事務所、看護協会、県精神保健センターなど多方面から追加注文と激励が寄せられています。

また、正確を期すために別記のような訂正箇所や改善点などの指摘も寄せられており、本書のような福祉制度のガイドブックが医療福祉関係者に待ち望まれていたことを改めて痛感しました。

## 感染性医療廃棄物の取り扱いに

### ご注意

最近、他県で院内から第三者が廃棄物を持ち出す事件が起きています。（理由は調査中）。また、当県でも感染性廃棄物処理の「許可証」を持たない業者が収集・運搬を行っているという情報があります。いずれの場合にも医療機関の責任が問われる場合がありますので、廃棄物の管理、処理の委託は厳格に行ってください。

他県ではすでに罰金刑が課せられたり、警察の事情聴取を受ける医療機関が増えてきています。

保険医協会では、廃棄物処理の点数化や公的助成措置の運動を検討中です。

# さらに問題事例が...

## — 黄色いハガキに寄せられた事例から —

### 【問題事例 70】

病名「胸圧感発作」、実日数1日で胃レントゲン検査の理由を問う返戻があった。(平成5年9月診療分 1,316点)

#### 《主治医の意見》

「胸圧感は食道・胃に原因ありと考えられ、胃X線検査を必要とした」と注記し再提出したが、この返戻理由について諸先生はどう思われますか?

#### 《保険医協会のコメント》

「胸圧感発作」は病状名のため、「病名でない」として返戻されたものと思われす。しかし、本例では初診時、同症状で診断すべく胃透視の外に、胸部X-P、ECGをとっており、まして投薬もされていませんでした。従って病名を決定する客観的データがなければ、真の病名は付けられず、返戻する必要はなかったと考えます。

### 【問題事例 71】

病名：慢性胃炎・胃切除術後障害・逆流性食道炎・ダンピング症候群・慢性膀胱炎疑いに対し、75g耐糖能精密検査(900点)をしたところ、700点を減点され、常用負荷試験(200点)にされました。

#### 《主治医の意見》

胃切除術後障害のある患者に対して食事等の生活指導は大変重要です。後期ダンピング症候群では、食事後早期の高血糖。続いて高インスリン血症のための低血糖が発現するわけですが、どのような時にアメをなめてみるとかの目安を立てる上でも第一線の医師にとって耐糖能の精密検査は不可欠でIRIの測定は有用です。

#### 《保険医協会のコメント》

胃切除後のダンピング症候群による低血糖の診断には、糖負荷時のインスリン測定は意味があります。再審査請求して下さい。

### 【問題事例 72】

10月末、支払基金より支払・請求過誤通知票が届き、急性気道感染症の病名でエンビナスPD錠を使用したケースにて減点を通知された。(保険者の申立てによる再審査結果)直ちに減点が不当だと判断し、再審査請求を行った。

後日、支払基金審査部事務官Y氏より下記の電話あり。

- ・エンビナスPD錠は「気管支炎」でないためではないか。
- ・再審査はレセプト原本を取り寄せるので、時間がかかり、しかもこの場合は「原審通り」となる可能性がある。

・このようなケースの保険者よりの再審査依頼がきわめて多く、基金として苦慮している。(事務官としていかにも邪魔くさい態度ありあり……)

これに対し、当方は急性気道感染症が気管支炎も含むのは常識である。この症例以外にも多数急性気道感染症でエンビナスPD錠を使用しているが査定されたのは今回が初めてである。大変お手数であるが、レセプトを保険者より取り寄せ、再々審査をお願いしたいと伝えました。

#### 《主治医の意見》

減点そのものは小さく、医療経営上問題にならぬが、今日の審査の実情を反映したケースとしてあえて提示しました。再審査担当の審査委員のご苦勞も分かりますが、より一層の奮起を期待したい。

#### 《保険医協会のコメント》

急性気道感染症に気管支炎が含まれるのは医学的常識です。気管支炎がないことによる返戻は、あまりに能書通りを押しつける事務審査が考えられます。審査にあたっては医学的立場で審査をお願いしたいものです。

### 【問題事例 73】

社保：東京自動車サービス健保組合

平成5年3月、入院中にウテメリン内服薬を1日6錠投与したところ、翌月レセプト返戻されたので、病状をコメントし再審査請求しましたが、1日3錠×7日分で1日3錠分減点されました。そこで別紙のように再審査依頼書を出しましたが、結果は原審どおり過剰となりました。

#### 《再審査理由》

前回妊娠、妊娠23週で早産新生児死。

平成5年2月24日、今回、妊娠25週3日で分娩開始、子宮口ほぼ全開大で入院、ウテメリン注点滴し子宮頸管縫縮術を行い、3日間ウテメリン注点滴し、その後2月27日よりウテメリン内服6錠分3/日で投与、腹緊がまだあるが、1日6錠投与で3月14日一時退院。腹緊が減少してきたので、3月19日よりウテメリン3錠/日で1週間様子をみだが、また腹緊がでてきたため1日6錠に変更するも、4月7日、31週3日で早産してしまった。

#### 《主治医の意見》

ウテメリン1日3錠より始めて、その後より6錠投与が認められるということですが、点滴でウテメリン投与した後であればその意味はない。ただ、保険審査を通すだけであれば2~3日3錠投与して、6錠に変えればよいことですが、現実の症例に合わせて正直に行えばこの投与になります。無意味な査定であると思います。

#### 《保険医協会のコメント》

本症例では、前回妊娠での新生児早産死もあり症状に応じて手術、ウテメリン投与の増減が行われたと考えられる。問題は、ウテメリン6錠を3錠に査定された点である。確かにウテメリンは、能書上は1日3錠適宜増減であるが、増減に関する解釈が不明確なため現場での混乱が起きて来る。増量は4錠なら許される範囲だったのだろうか。上記のような緊急時の処置の場合、医師の裁量権を認めるべきであろう。能書通りとする方針なら、増減の記載を明確にさせるのも行政側の責任である。

## 「審査・指導相談窓口」を設置

昨年10月に富山県で起こった個別指導による保険医の自殺事件は、個別指導のあり方についての根本的見直しを私たちに求めるとともに、保険診療における保険医の権利・義務関係全般を改めて見直す契機ともなりました。医療費抑制を掲げる厚生省のもとで、審査・指導の一層の強化が予想されます。保険医協会ではこれまでも、アンケートや「黄色いハガキ」などによって、会員の先生方から審査・指導問題など保険診療に関する様々なご意見をお聞きしてきました。そうした活動をより充実させるために、このたび「審査・指導問題相談窓口」を設置することに致しました。審査、指導に対する疑問など保険診療をめぐるご意見、ご要望がございましたら、保険医協会(TEL:0762-22-5373、FAX:0762-31-5156)までご一報ください。

## 石川県保険医協会の休業保障給付状況

(1994年1月審査分)

受給者	加入口数	給付期間	給付日数	給付金額	給付内容
A先生(医科)	3	93年12月1日~93年12月31日	31日	279,000円	長期療養給付
B先生(医科)	5	93年12月1日~93年12月31日	31日	980,000円	継続、入院、自宅休業給付
C先生(医科)	2	93年12月11日~93年12月18日	8日	112,000円	新規、入院休業給付
D先生(医科)	5	93年11月11日~93年11月30日	20日	600,000円	新規、自宅休業給付
E先生(医科)	3	93年7月26日~93年12月31日	159日	3,273,000円	新規、入院、自宅休業給付
F先生(医科)	3	93年11月29日~93年12月31日	33日	621,000円	新規、入院、自宅休業給付
G先生(歯科)	8	93年11月24日~93年12月17日	24日	1,240,000円	新規、入院、自宅休業給付
H先生(歯科)	8	93年12月21日~93年12月26日	6日	328,000円	新規、入院休業給付

※休業保障制度にご加入の方で、病気、ケガなどで診療を休まれた場合は、ただちに保険医協会までご連絡ください。



奥様、ご長男、スタッフの方々と一緒に

# おねほす

吉田均 先生の巻

よしだ小児科クリニック  
能美郡辰口町松が岡3-67

## 患者さんの期待に 精一杯こたえたい

今回は能美郡辰口町で小児科を開業されている「よしだ小児科クリニック」の吉田均先生をお訪ねしました。吉田先生とは泉丘高校時代の同級生であり、懐かしい気持ちを抱いて辰口の丘陵地帯に向けて車を走らせました。「よしだ小児科クリニック」はペンションを思わせる白いおしゃれな建物で、周囲の景観とマッチしており、先生のセンスのよさが読み出ています。

—まず先生のご略歴をお聞かせください。  
一九七三年に金沢大学医学部を卒業し、小児科学教室に入局しました。一九七五年から一年間、福井県の愛育病院にて小児心疾患について研鑽したのち、再び大学にもどり、一九八四年までもっぱら小児心疾患を専門に治療してきました。

併せて「超音波による心疾患の診断」という研究テーマにも取り組まれましたね、いろいろ苦労しました。この間、アメリカのシカゴ大学医学部小児科の心臓部門に留学する機会を得て、ヒトの心臓の発生に関する研究に取り組んできました。本当に心臓ひとすじという感じでやってきましたが、それなりに充実した日々でした。

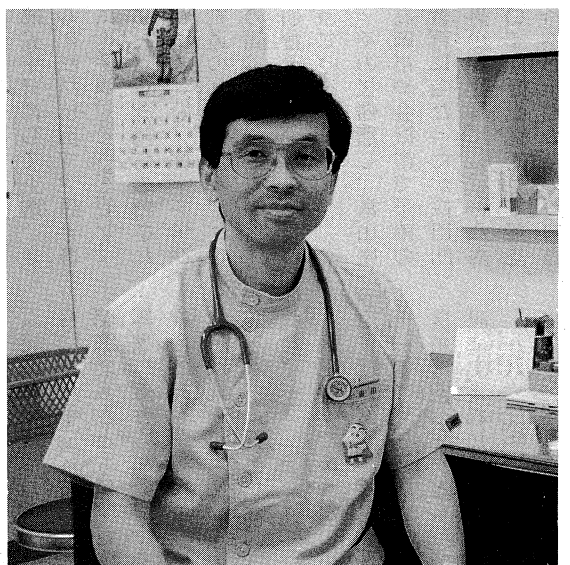
—素晴らしい経歴ですね。ところで、開業ということは一九八五年からは辰口芳珠記念病院小児科に赴任し、一九九一年の五月に当地に開業した次第です。  
苦勞することですか。そうですね、これは小児科医にとっては当然のことながら、苦勞と云うべきかどうか分かりますが、時間外急患の多いことですね。肉体的にしんどいと思うこともありますが、私を信頼して来て下さっているのですから、むしろうれしく思います。従業員にも恵まれていると思っ

—開業されて二年半あまりが過ぎたのですが、開業医としてのやりがいとか、ご苦勞とかいったものはありますか。  
何といっても、患者さんが元気になるのを見るのが一番うれしいですね。それに患者さんの家族の喜ぶ顔ですね。家族の方が野菜やお米を持ってきて下さったりすると、自分が身近な存在として受け入れられているなと感じます。そんな時、ホームドクターとして自分に寄せられている期待に精一杯こたえようと思っ

—開業されて二年半あまりが過ぎたのですが、開業医としてのやりがいとか、ご苦勞とかいったものはありますか。  
患者さんに対しては、患者さんの訴えをよく聞いてあげること、そして丁寧に診察することです。こんなことがありました。開業し

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い



吉田均先生—診療室にて—

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業されて二年半あまりが過ぎたのですが、開業医としてのやりがいとか、ご苦勞とかいったものはありますか。  
何といっても、患者さんが元気になるのを見るのが一番うれしいですね。それに患者さんの家族の喜ぶ顔ですね。家族の方が野菜やお米を持ってきて下さったりすると、自分が身近な存在として受け入れられているなと感じます。そんな時、ホームドクターとして自分に寄せられている期待に精一杯こたえようと思っ

—開業されて二年半あまりが過ぎたのですが、開業医としてのやりがいとか、ご苦勞とかいったものはありますか。  
患者さんに対しては、患者さんの訴えをよく聞いてあげること、そして丁寧に診察することです。こんなことがありました。開業し

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業されて二年半あまりが過ぎたのですが、開業医としてのやりがいとか、ご苦勞とかいったものはありますか。  
何といっても、患者さんが元気になるのを見るのが一番うれしいですね。それに患者さんの家族の喜ぶ顔ですね。家族の方が野菜やお米を持ってきて下さったりすると、自分が身近な存在として受け入れられているなと感じます。そんな時、ホームドクターとして自分に寄せられている期待に精一杯こたえようと思っ

—開業されて二年半あまりが過ぎたのですが、開業医としてのやりがいとか、ご苦勞とかいったものはありますか。  
患者さんに対しては、患者さんの訴えをよく聞いてあげること、そして丁寧に診察することです。こんなことがありました。開業し

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

—開業医にとって最大の敵はストレスであるとも言いますが、さて、先生のストレス解消法について教えてください。  
大学時代は白山診療班、勤務医時代はスキー、テニスを楽しみましたが、開業してからは時間が無く、手頃なジョギングを楽しんでいます。とにかく外に出て新鮮な空気を吸う、これがいいですね。とくに私のクリニックの周りは自然がいっぱいでジョギングにはもってこいです。あとは睡眠ですね。時間外患者が多い

# 栗野利雄先生の 記念碑めぐり [48] 小川幸三の記念碑

(鶴来町)



鶴来町朝日小学校中庭にある小川幸三の銅像と栗野先生

勤王の志士小川幸三は、医師小川一方の子として、一八三六年(天保七年)に鶴来町に生まれた。幼少のころより読み書きを学び、十四歳で京都に上り、典薬太田伊豆守に医学を、城谷成章に儒学を学んだ。栗川星巖の門に入り、多くの勤王の志士と交わったことが影響して、一八五四年(安政元年)に一旦帰国し、父に「医はただ人の病苦を救うのみ、われ願わくは天下を救う術を学ばん」

## 医は、ただ人の病苦を救うのみ われ願わくは天下を救う術を学ばん

と申し出て許しを得、在郷五十日にして上洛。さらには江戸に出て、昌平費に大学頭林氏を訪ねる。また、斎藤篤信の門をたたく、兵術、儒学を学び、剣道の修練に励んだ。この間、加賀藩の野口之布、仙台藩の岡千仞らと交わっている。

その後帰藩し、富山県高岡市や金沢市で子弟の教育に当たったが、桜田門外の変を耳にし、一八六〇年(万延元年)、藩主斉泰へ十七カ条の建白書を提出、一八六二年(文久二年)にも五カ条の建白書を差し出し、加賀藩の優柔不断をただした。そのことがやがて幽閉の身となり、一八六四年(元治元年)十月二十六日、犀川下流において福岡惣助らとともに刎首の極刑に処せられ、二十九歳の生涯を閉じた。

幸三の妻であった小川直子は一八四〇年(天保十一年)、加賀藩土河島良左衛門の三女として金沢に生まれた。一八六三年(文久三年)に二十四歳で幸三と結婚。

この時、幸三は二十八歳であったから、結婚後わずか一年で夫が処刑されたことになる。一時は幸三の後を追って自殺を考え、家族に止められ志を立てる。

永山平太、重野安釋に従い漢学を、竹村源吾からは洋算学を、木居豊類には和歌、近藤芳介に国学、広瀬水詮について詩歌を学んだ。この間、金沢女学校、石川女子師範学校で教鞭をとった。

一八九二年(明治二十六年)、品川弥次郎子爵に認められて高輪御殿に召され、明治天皇皇女常宮、周宮両殿下の教育御用掛を務めた。

著者には「越路のつと」「高輪御殿進話録」「松の下風」「しのぶ草」のほか「竹の下枝」など多数あり、歌人、教育家として名を成した。

一九一九年(大正八年)に八十歳で没し、同日、従六位に叙せられた。

徳川幕府も末期百万石の大藩も保身に汲々たるのあまり、世界の大勢を見誤り、明治維新の潮流に乗り切れず、かえって天下の身軽な小藩に御維新の立役者の席を譲ったくやしさをいささかなりとも晴らしてくれたのは、かの加賀藩勤王の志士、小川幸三その人であった。

# 新刊 案内

## 障害をもつ人々と参政権

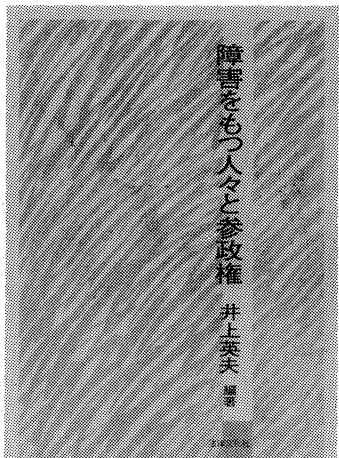
井上英夫・編著  
(法律文化社・刊)

紹介者 小森 貴 (金沢市・耳鼻咽喉科)

地球上のどんな小さな社会であっても、そこには様々な障害をもつ人々が生活しています。幸いにも重大な障害をもつことなく生活を営んでいる者のみが社会を動かしているのでは決してありません。

編者は、国連の「国際障害者年」のテーマ「完全参加と平等」をふまえて、それぞれの本質的な意義が、障害をもつ人々とともに歩むことであり、間違っても同情や対策といったものではないことを強く主張しています。

参政権は、民主政治の基本的権利であることはいうを待ちません。しかし、その権利は、一世



A 5判・260頁  
1冊 2987円

—お申し込みは協会まで—

紀をこえる国民参政、普選そして婦人参政権運動に代表される多くの先人の「自由獲得の努力の成果」である。そして、現在のその権利を保持し、さらに発展させるための「不断の努力」がいつそう求められていると思う」とし、さらに、「あらたな世紀は障害をはじめとするハンディキャップをもつ人、もたない人、すべての人に一読を勧めたいと思います。

つすべての人々への保障、すなわち参政権の実質的平等こそ課題となろう」と呼びかけています。

各論考にはいきいきとした活動の姿も伝えており、我々の意識変革を迫る好書です。障害をもつ人、もたない人、すべての人に一読を勧めたいと思います。

## 新春クロスワードパズル当選者発表

### 意見欄から

○カラーできれいだと思つた。いろんな先生の顔写真がもつとたくさんあったらいいと思つた。

(小松市・中出美沙・看護学生)

○「わが家の愛犬」の所がおもしろかったです。

(金沢市・岡部絵里奈・小学生)

○福祉関係も大切ですが、

(島根県・佐藤進)

もう少し子育てについても書いてほしいです。

(羽咋市・川原カヅ子・公務員)

○新しい年のはじめ可愛い顔の犬、大好きなものですから心がなごみました。

(金沢市・伊藤俊子・主婦)

○いつも参考にしています。今後もしよろしくお願ひします。

(金沢市・高野三枝・主婦)

○同じ金沢市のお医者さんの、人間らしい生活の一面が伺われほっとする。診察室では、お医者さんが生活者の一人に見えることはほとんどないから、保険医新聞は、ときどき読ませて頂いておりすが、保険医療の情報紙として医院の待合室に置いてあってもいいような気がします。

(金沢市・河合洋子)

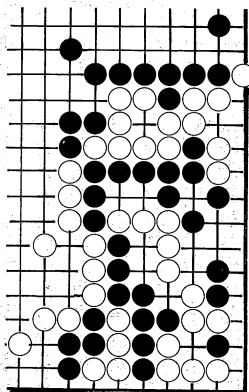
### 答え ヨイトシディアリマスヨウニ

◎左記の十人の方々に図書券千円分をお送りしました。

浅羽 賢様 (金沢市) 中出 美沙様 (小松市)  
伊藤 俊子様 (金沢市) 川原カヅ子様 (羽咋市)  
岡部絵里奈様 (金沢市) 大谷ひとみ様 (鹿島郡)  
帯刀 裕之様 (小松市) 林平 成子様 (輪島市)  
高野 三枝様 (金沢市) 佐藤 進様 (島根県)

### 碁

出題者  
六段 向井富治 (金沢市・内科)



策岡と生方乗局にた。無き。居と六局にた。無き。五栄の対ま番でさい。鳥居のじ黒件下